

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
1 個々の生徒の能力、適性、興味、関心や進路希望に応じた主体的な学習を促し、きめこまかな指導の実践により、生徒の進路希望の実現を図る。 2 基本的な生活習慣を身につけ、自らを大切に他人を思いやる心をもつ生徒を育てる。 3 教職員、生徒が希望、情熱、愛情、信頼をもって一体となる、特色ある、活力にあふれる学校づくりを進め、保護者、地域から信頼を得る。 4 学校評価、教職員評価システムによって、自己点検、評価を行い、教育活動の改善を目指す。	1 基礎学力の定着をはかるために、様々な授業の工夫を行った。「にしおつスタディカップ」や「国際交流活動」は学習意欲の向上に成果があったが、コースにあった教科指導や自主的な学習時間の増加に繋がる取組や自習室の活用に課題が残った。 2 規範意識の向上と道徳心の育成については、全教職員が服装指導や頭髪指導に取り組み、一定の成果が見られた。また、携帯電話・スマートフォン等の使用に関する指導に課題が残った。今後も、教職員が一丸となった持続的で粘り強い指導が肝要である。 3 進路指導については、学年部と進路指導部、各教科との連携が図られ、個々の生徒に対して丁寧な指導を最後まで行った。 4 広報活動については、説明会の申込方法等の工夫や、ホームページの更新、広報誌の定期的な発行と中学校訪問を通して、本校の教育活動を外部へ発信することができた。今後も、地域の中学校を中心に連携を深め、学校に対する信頼を高める取組が必要である。	1 各教科で生徒の学習意欲を高めるわかりやすい授業実践を行うとともに、各コースにあった授業を行い、主体的な自学自習時間を増加させ、学力向上を図り、希望進路を実現させる。また、国際教育の充実を学校全体で図る。 2 頭髪指導、服装指導、携帯電話・スマートフォン等の使用に関する指導等の生徒指導を全教職員で一致して行い、生徒にけじめのある学校生活を過ごさせることで、規範意識の向上と公徳心の育成をはかる。 3 部活動を充実させ、生徒の心身の健全なる成長をはかる。 4 学校説明会を充実させるとともに、学校HPや「西乙だより」を通じて、中学生や保護者にタイムリーな情報提供を行い、志願者の増加を図る。

評価領域	重点目標	具体的方策	中間評価	所見
組織・運営	◇分掌間・教科間の協力推進	○分掌及び教科がそれぞれの領域を超える連携と調整を図り、教職員全体が当事者意識を持ち、本校の教育課題に取り組む。	B	・部長会議をはじめとする各種会議を通じて教職員で情報を共有し、各分掌間の調整や連携が図られ、教職員の一致体制が取れるようになってきている。
学習指導	◇学力の向上	○「学習強化週間」の設定や「自習室、スタディールーム」の利用推進をすすめることで自学自習による学力向上を図る。 ○各コースの目標に応じた授業を行う。土曜講習の定着、長期休業中の講習や学習合宿に、積極的に参加をさせる。 ○早期に卒業後の目標を設定し、家庭学習時間を最低1日1時間確保し、2時間以上の家庭学習を促す。日々の学習時間の確保により、課題等の提出の徹底を図る。	B B C	B
	◇国際教育の推進	○国際関係者会議により、学校全体としての取組をすすめる。海外研修旅行を通じて、生徒の主体性を引き出し、成功させる。アーリントン高校、ジャコビー高校等との交流をはじめとする国際交流活動を充実させる。	A	
	◇図書視聴覚教育の充実	○新着本等の紹介やディスプレイを工夫し、生徒の読書意欲の向上と、図書委員会の活性化を図り、図書館の利用を促進する。教科学習や特別活動等での図書室や視聴覚教室の利用を増やす。	A	
進路指導	◇希望進路の実現	○進路指導部と学年部の連携を密にし、また、生徒面談を積極的に行い、生徒個々の進路希望に応じた指導を徹底し、私大合格者数の増加及び進路決定率100%の実現を目指す。 ○大学等への見学の実施をはじめ、学年の進路行事、進路HRを充実させる。	B B	B
	生徒指導	◇規範意識の醸成	○頭髪指導、服装指導等の生徒指導を全教職員で一致した指導を行う。挨拶や身だしなみ等についても意識の向上を図る。 ○特に、携帯電話・スマートフォン等の使用に関して、マナー・ルールを理解し守らせる指導を、全教職員が一致して行う。	B B

	◇特別活動や部活動の充実	○学校行事に積極的に参加し、目的意識を持って集団で行動でき、協力することや責任を果たすことの意味も体得させる。	B		B	<ul style="list-style-type: none"> ・西乙祭等の行事には、今年も生徒たちが意欲的に取り組む姿が見られた。 ・学校行事や部活動参加への生徒の意識は低下しているように感じる。
		○部活動に積極的に参加し、心身ともに健全な成長を図る。部活動の加入率を引き上げ、上級生は下級生の模範となるよう指導する。また、部活動と学習の両立を図る。	B		B	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動の活性化、部活と学習の両立までには至っていない。 ・部活動の活性化も含めて今後議論が必要である。部活動への加入率や継続率が低下してきている、対策を検討していく。
	◇人権意識の向上	○生徒の人権意識を高揚させるために、あらゆる教育活動において人権感覚を意識させる指導を行う。			B	<ul style="list-style-type: none"> ・人権学習として人権担当と連携し、講演等を行い人権意識の高めた。
	◇交通安全指導の推進	○地域、PTAとも連携し、定期的に登下校時の安全について啓蒙する。特に、自転車利用者の登下校時における通学安全指導を強化する。			B	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車利用者の安全意識や運転マナーの向上へ向けた取り組みを充実させる必要がある。 ・交通安全指導もクレームや実際の交通マナーを目にしていると、もっと指導が必要だと考える。
学校保健	◇環境・美化の推進	○学習環境を整備するために日常の清掃活動をきめ細かく丁寧に行い、ゴミ分別の徹底等の環境美化活動や広報活動を保健委員会が中心となって取り組み、学校全体の意識向上を図る。			B	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの分別が徹底されていない。生徒の意識改善が必要だと考える。 ・6限後の連絡が長引くと、清掃時間が確保しづらいのが現状で、工夫が必要である。 ・ホームルームの掃除は概ね丁寧に行えており、美化は保たれている。 ・廊下の壁面の汚れが発生しており、今後の美化の維持と生徒の意識の向上が課題である。
	◇生徒の実態把握と支援の充実	○保健調査等により生徒の健康実態を把握し、校医・家庭・教職員との連携を密にして、健康上課題がある生徒の対応に努める。 ○スクールカウンセラー及び地域の専門機関との連携により、学校における教育相談及び特別支援の機能を充実させる。	A		A	<ul style="list-style-type: none"> ・身体的・精神的な課題や発達障害による課題を持った生徒の理解や支援に取り組んでいるが、対応や支援の充実には支援する側の条件（時間・人数等）整備が望まれる。 ・心身に課題を持つ生徒が、以前に比べ増加している現状で、保健部と担任が連携して手厚いケアをされている。 ・不登校生徒については保健部等と学年部が連携し対応できている。
家庭・地域	◇広報活動の充実	○学校説明会等の改善を図り、Webによる広報も充実させ、本校の良さやコースの特徴を中学生や保護者にわかりやすく発信する。そのために、広報誌配布やHPの計画的な更新に努める。			B	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌の配布や中学校訪問は十分に行われており、本校のイメージアップに繋がっている。 ・学校説明会では、毎回内容を工夫されており、来場者の評価も良く、本校の良いイメージに繋がっている。
	◇地域・外部への的確な対応	○窓口・電話業務を迅速、丁寧に行い、地域・外部へのサービス向上に努める。			B	
安全管理	◇安心・安全な教育環境の整備	○校内危険箇所の点検を定期的に行い、早期対処に努める。また、不審者の侵入を防ぐため、外来者の確認を確実に行う。併せて、備品等の管理を徹底する。			B	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて迅速に対応することで、安全な学校生活が送れている。 ・さらに迅速に対応できるよう努める。
生徒福祉	◇的確な生徒福祉業務の推進	○生徒の教育の保障と進路実現に向けて、就学支援金や奨学金等の業務を的確に行う。			B	<ul style="list-style-type: none"> ・適切に対応できている。